

2020

「丘の上の町」

Happy New year!

**CFNJ NEWS**

クライスト・フォー・ザ・ネイションズ・ジャパン聖書学院

2020年1月・2号 NO.178

# 「丘の上の町」

2020  
Happy New year !

"You are the light of the world. A city that is set on a hill cannot be hidden."  
(Matthew 5:14)



学院長 鍛冶川利文

「あなたがたは、世界の光です。山の上にある町は隠れる事ができません。また、あかりをつけて、それを柀の下に置く者はありません。燭台の上に置きます。そうすれば、家にいる人々全部を照らします。このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。」(マタイ5章14節～16節)

## あけましておめでとうございます！

年の初めに、今年一年の皆様のご多幸を、心よりお祈りしております！

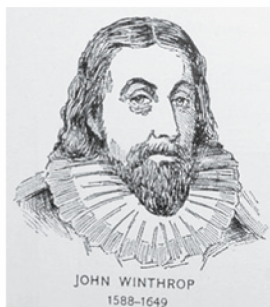
イエス様が山上の説教の最初の所で、弟子たちに向かっていきなりこう仰いました！「あなたがたは世界の光です。」(14節) これは驚きの言葉です！なぜなら弟子たちは、まだ何も成し遂げていなかったからです。このイエス様のお言葉は、神を信じ、神のお言葉を受け入れたものが輝くものとされて、この暗い世界に、希望の灯を照らす使命があることを私たちに教えています。そしてその使命を果たす為に、更にイエス様は「山の上にある町は隠れる事ができません。」(14節) と続けて仰いました。

### 丘の上の町

17世紀の初めころ、アメリカの最初の入植時代、イギリスからメイフラワー号という小さな貨物船に乗って102人の人たちが危険を冒し、大西洋を渡って新大陸に到着しました。そしてそれから20年後の1640年に、第2陣の2万人がアメリカ大陸に渡りました。その中に「ジョン・ウィンスロ

プ」(John Winthrop 1588～1649) という人がいます。この人はピューリタンの牧師で、入植時のマサチューセッツ州の初代総督にも選ばれた指導者です。この人がアメリカに到着する直前の船の上で、これから上陸する新大陸でのビジョンを語りました。その内容はこうです。「神と私たちは、神との間で契約関係に入っている。今我々の眼の前にあるニューイングランド(新大陸)は「新しいカナン」であり、神が私たちの為に特別に聖別して下さった実験の場に他ならない。この事業を成し遂げる為にイスラエルの神は、私たちに特別の恩恵をたれ給い、いかなる敵にも抗する事の出来る力を与えて下さった。従って私たちは公義を行い、いつくしみを愛し、遜って神とともに歩むべきである。私たちが兄弟愛を持って互いに結び合い、あたかも一つの身体のように互いに労苦し、悲しみ、謙遜と忍耐を持って助け合い、互いに喜び楽しむならば、神は私たちを称賛と栄光を持って祝福して下さるに違いない。従っ

て私たちはマタイ伝5章にあるように「丘（山）の上の町」となるべきである。すべての人々の眼が私たちに注がれているのです。しかしながら私たちの心が頑なになって神に従わないならば、他の神々、私たちの快樂、利益といった偶像を崇拜し、それに仕えることになってしまうであろう。その時、私たちは多くの苦難を経て手に入れたこの良き地で朽ち果ててしまう事は明らかである。そして、もし私たちがこの事業に失敗し、神が私たちから去り給うことにでもなれば、私たちは世界の人々の笑い種になるであろう。そればかりではない。その時、敵は神の支配と、それを信じるものの悪口を言い、多くの真摯な神の僕の顔に泥を塗ることになり、彼らの祈りと熱心を踏みじることになるであろう。」（ジョン・ウィンスロップ）



このメッセージは元祖アメリカンドリームであり、「キリスト教愛のモデル（a model of christian charity）」と題するメッセージで、後にアメリカの建国の精神へと引き上げられていきました。そしてこのメッセージは後の大統領であるジョン・F・ケネディ大統領やレーガン大統領などがこのフレーズを演説の中で引用しています。

## 使命に目覚める

国の始まりの時から「世界の光」となることを神からの使命として掲げている国はイスラエルは別として、他にないと思います。その意味でアメリカという国は特別な使命を担った国です。しかし、アメリカの歴史を見ると、ジョン・ウィンスロップが言ったように、幾度となく、神の御心から離れ、心頑なになる時がありました。でも神は、そのたびごとに、アメリカで大きな覚醒のリバイバルを起こしていただきました。18世紀中頃の入植間もない時代には第1次大覚醒。（ジョンナサン・エドワーズ）19世紀の前半の開拓時代には、第2次大覚醒。（チャールズ・フィニー）更に、19世紀後半の第3次大覚醒。（D. L. ムーディー）そして20世紀に入ってからペンテコステ、カリスマ運動やヒーリングのリバイバルなど、様々なリバイバルがアメリカを中心に世界に広がっていきました。大覚醒運動とは広い範囲に及ぶ、国家的な規模の信仰復興の事です。その意味は「眠った人を起

こす」「目覚めさせる」という意味で、冷たい形だけの信仰から、熱い信仰に目覚めていくことです。それはアメリカが「世界の光」となる本来の使命に目覚めていくことです。現在、トランプ大統領によるアメリカ第一主義（アメリカファースト）は、その建国の使命につながる事でしょうか？でもこの使命はアメリカだけでなく、日本にも中国や韓国にも、そして世界中の国々にも課せられた使命でもあると思います。そして、国だけでなく、私たちの教会、クリスチャンすべてに課せられた使命でもあります。

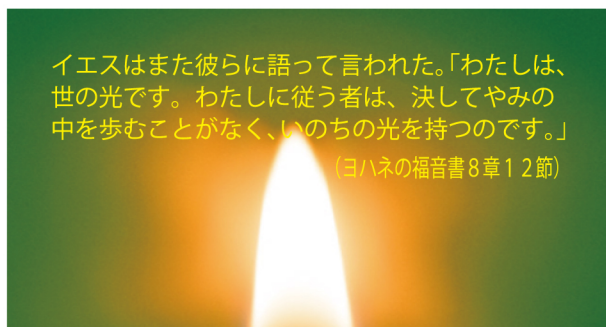
## 家にいる人々全部を照らす

光を妨げるものは、光を他者の為ではなく、自分の為に隠すことです。イエス様の願いは「**家**にいる人々全部を照らす」（16節）ことです。自分の国だけ、自分の家だけ、自分の教会、教団だけではなく、「**家**にいる人々全部」を照らすことです。光の役目は照らし、輝くこと、それ以外ではあり得ません。その為に隠れクリスチャンは世の光であることをやめてしまっている人です。ナチスと戦ったボンヘッファーはこう言っています。「逃避して隠れることは、神の召しを否定することである」。そして私たちの最終目標は、自分勝手ではなく、愛にもとづく良い行いによって、神の愛が人々を照らし、「**天におられるあなたがたの父をあがめるように**」（16節）なることです。私たちは教会を通して、又、私たち自身を通して、家庭にあって、職場にあって、地域社会にあって、神の御名が崇められ、主の光を反映させるものでありたいと願います。この一年が皆様にとりまして、神の愛に光り輝く年となりますように！

「いのちのことばをしっかりと握って、彼らの中で世の光として輝くためです。そうすれば、私は、自分の努力したことがむだではなく、苦労したこともむだでなかったことを、キリストの日に誇ることができます。」（ピリピ2章16節）

イエスはまた彼らに語って言われた。「わたしは、世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです。」

（ヨハネの福音書8章12節）





## ■学院ゲスト講義

# 「神様の喜び」①

Grant・マレン師

●カナダ在住。精神衛生をればもっと喜びも見ることができる。専門とする医師。医者立場から心の束縛の鎖からの解放について教える。著書「心の解放」。



## 「神様の喜び」

私たちが、喜びをもっと得ていくには、私たちの心が癒されていないければなりません。私たちの心がどのように癒されていったらいいかを一緒に考えてみましょう。

私たち人間は、誰でも喜びをもつことができる可能性をもって造られました。私は医者ですから、赤ちゃんの出産にもたくさん立ち合いました。でも喜びながら出て来る赤ちゃんは、一人も見ただけではありません。みんな怒り、泣きながら産まれてきます。でも神さまは喜びに満ちておられるお方です。私たちは、神さまの似姿に造られました。

## 「神様との喜びの関係」

「主を喜び祝うことこそ、あなたがたの力の源である。」(ネヘミヤ記8章10節(新共同訳))

神さまはいつも私たちに腹を立てているかたではありません。いつも私たちが喜んでいてかたです。そして神の子どもである私たちが、神さまの喜びを共に分かち合うことを願っています。ですから神さまがアダムとエバを作られた理由は、そこにあったのです。誰かと一緒に神様は自分の喜びを分かち合いたかったのです。でもアダムが罪を犯したときに、彼らは、神さまの臨在から切り離されただけでなく、神さまの喜びからも切り離されてしまいました。そして悪魔の一番目の目的・ターゲットは、私たちが神さまの愛と喜びから切り離したいのです。なぜなら私たちが神さまの愛と喜びにつながっていると、悪魔に打ち勝つことができるということを、悪魔は知っているからです。でもクリスチャンが神さまの愛と喜びをよく理解していないと、簡単に敗北して

しまうのです。ですからこのテーマは、とても重要なことなのです。

イエスさまは、アダムが失ってしまった関係を取り戻すためにきてくださいました。そのことによって、私たち人間が神さまの愛と喜びの関係をとり戻すことができるからです。「わたしは今みもとにまいます。わたしは彼らの中でわたしの喜びが全うされるために、世にあつてこれらのことを話しているのです。」(ヨハネの福音書17章13節(新改訳))そして神さまは、神さまの喜びをこの地上で体験してほしいと思っています。もしクリスチャンがこの世の中の人と比べて、最も喜んでいるならば、証しの効果も変わってくるでしょう。この世の中の人たちは、クリスチャンを見て、「どうしてこんなにこの人たちは、喜んでいるのか」と思い、もっと知りたいと思うのではないのでしょうか。ですから悪魔は、クリスチャンが神さまの愛や喜びを体験するのを妨害しようとしているのです。

## 「喜びの選び取り」

「信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのゆえに、はずかしめをものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されました。」(ヘブル人への手紙12章2節)

このヘブル書の御言葉は、イエスさまが十字架を忍ばれたのは、前に置かれた喜びのゆえにと書いています。その喜びとは、私とあなたがもう一度神様と関係を取り戻すことができるというものです。そしてイエスさまは、十字架を通して私たちが、もう一度神様の愛と喜びにつながることができる、その関係を取り戻すことができるということをご存じだったのです。でももちろん人間は罪をおかしまし

たから、神様の愛と喜びから切り離されてしまいました。私たちが生まれた時に神様の愛と喜びを神さまのうちにを見つけるか、それとも悪魔の別の方法を見つけるか、その選択が与えられています。ですから悪魔は、いつも私たちが神様の愛や喜びが発見できないように妨害しています。悪魔は、いつも愛や喜びは、神様ではなくこちらにあると目を逸らそうとしています。それは私たちの人生を無駄にするためです。そしてこれからどうやって効果的に神様の愛と喜びを発見できるか。そしていただいたものをどうやって他の人に分かち合うかということをお話します。

## 「2種類の痛み」

私は医者ですから、身体的な痛みについては、よく知っていますが、別の痛みがあることをはじめて知りました。痛みには2種類あります。「身体的な痛み」と「心の痛み」です。「心の痛み」はたくさんあります。また肉体的な痛みよりも痛みが大きく、長く続きます。そして痛みによってできなくなることがたくさんあります。しかし、一番私が驚いたことは、「心の痛み」を抱えてやってきたその多くがクリスチャンだったということでした。クリスチャンが心の問題を抱え、鬱とか、不安症で悩んでいることはまったく知りませんでした。イエス様を信じているので鬱とか不安症にならないと思っていました。でもたくさんのクリスチャンが、心の問題や感情的な問題で私のところにやってきました。私は本当に悩んでいるクリスチャンを見て可愛そうだなと思って、鬱や後遺症の人たちを見るようになりました。それから神様がどの薬を使ったら、どういう症状が癒されるか教えてくださいました。そしてびっくりするほど患者が回復されていきました。そして、アメリカ中からたくさんの人たちが私のところに来て、私の人生が変わってしまいました。鬱を治療していくと夫婦関係もよくなり、仕事にも復帰して、何より神様との関係もよくなることわかってきました。その気分というのが安定していくと、私たちの人生すべての部分がよくなっていきます。その後、神様は私に更にバランスを取ることを教えてくださいました。

## 「霊的権威を学ぶ必要」

私がクリニックを始めて、何年後にある患者さんを大きな病院に入院させなければならぬことになりました。そして私が病院で診察していると、突然彼女の目つきが変わってしまったのです。そして彼女の中から変な声が出て、「彼女に手を出すな。放っておけ。この人は私のものだから。」という声が聞こえました。これをどうしたらいいのでしょうか。学校では教えてくれたりしません。そして教会でも教えられたことはありません。「悪霊」や「悪魔」とかそういったものはカナダにはいないという事だけを教わっていました。そんなことを扱う必要がないと。ですからもし私たちの事務所に悪霊が現れたらどうすればいいかということは、誰も教えてくれませんでした。ですから私の職場は、少し変な職場にな

りました。なぜならその後2年ぐらい、毎月患者さんの中で悪霊現象が現れるといったことが起こっていたからです。ですから私のことを、悪魔は嫌っているんだなということがわかりました。私の患者さんも悪魔は憎んでいるということもわかりました。私のクリニックも悪魔は嫌っていることも。ですから霊的権威ということも学ばなければならなかったし、それをどう用いるかということも学ばされました。ですから医療的な面も、霊的な面も理解できて、だいぶバランスが取れたなと思ったんです。でも神様の訓練トレーニングはこれで終わりました。

## 「新しい心、変革。」

そのようなことがあった何年後、私と妻は夫婦の危機に陥りました。そして感情的にもお互いがボロボロになってしまいました。結婚したとき私たちは、完璧なカップルだと思ったんですね。そして問題なんてまったくないと思っていました。そして妻は、必要なら私を変えることができると考えていました。しかし、その時点で二人ともボロボロでした。妻は、助けが必要で、カウンセラーにカウンセリングをしてもらったほうがいいと思っていました。私は彼女のサポートとして、一緒について行ってあげようと思っていました。そしてカウンセラーは、私たちの問題をとても手助けしてくれました。実は、そのカウンセラーはエリヤハウスで訓練されたカウンセラーだったんですね。エリヤハウスというミニストリーは聞いたこともありませんでした。しかし神様の憐れみによって、エリヤハウスで訓練を受けたカウンセラーに私たちを向かわせてくれました。そして彼は、「これは薬で治る問題ではありません。そして霊的な問題や悪魔の問題でもありません。私たちの心の問題なのです。心が癒されないといけません。」そして彼は、続けて「奥さんが癒される必要がありますが、あなたも同じくらいに癒されないといけません。」といいました。それは驚きでした。しかし、一番大切なことは、神様は神の子供たちがただ救われるだけでなく、もっとそれ以上のものを願われているということでした。神様は私たちが救われて、そして変えられる事を願っています。私も教会で育ちましたから、救いのことはたくさん知っていました。しかし変えられること、つまり変革されることは何も教わってきませんでした。この変革の過程とは、どういうものかということ。神様は、私たちの傷ついた心と神様の心を取り替えたいということです。神様は、ただ私たちの罪を取り去るだけでなく、私たちに新しい心を与えたいと思っておられます。そしてこのカウンセリングの経験を通して、私たちの夫婦関係はよくなって癒されました。(次号に続く)

※マレン先生の日本公演のDVD6枚シリーズが購入できます。詳しくは [www.objapan.org/joy](http://www.objapan.org/joy) にアクセスしてください。尚、「心の解放」は、キリスト教書店や、アマゾンでも購入できます。

# アメリカ 訪問記



CFNI

2019年11月20～28日

■ハレルヤ! 主の聖名を賛美します。念願がなって、私たち夫婦はこの11月に、テキサス州ダラスの母校 CFNI と、サンアントニオに住む創立者のグリコ夫妻をお訪ねすることができました。CFNI で働いているハーモニー・グドール姉妹と共に。1985年学院創立以来、この35年間、変わらぬ愛をもって、日本の魂の救いのために祈り、働き人の育成のために、この学院を支え、多くの犠牲を払って、捧げ続けてくださっている、チャールズ&ダイアン・グリコ夫妻にお会いすることは、私たち夫婦にとって、悲願となっていました。何故なら、ここ数年、ダイアン先生がお体の不調を覚え、旅行することもままらなくなっていると知ったからでした。毎年ご夫婦揃って長の旅路を厭わず、日本を訪れ、大きな励ましを与えてくださっていたダイアン先生、今度は私たちの方からお訪ねして、心からの感謝を表しご恩に報いたい、というのが訪問の動機でした。神様が私たちの祈りに答えて、大きなギフトとしてこの時を備えてくださいました。ダイアン先生は少しお痩せになりましたが、相変わらず美しく、私たちの訪問をとて喜んで下さり、私も涙があふれ、心からの愛と感謝をお伝えすることができました。グリコ先生とダイアン先生のご家族からなるキングダムファウンデーションの皆様と一同に会し、ダイアン先生とグリコ先生のお誕生日を祝い、素晴らしい祝福に満ちた感謝ディナーを共にすることができ、愛と平和と聖霊による喜びに満ちたひと時でした。



CFNI で働いているハーモニー・グドール姉妹と共に



アメリカーボードメンバー



デニス・リンゼイ夫妻とともに



ダイアン先生



グリコ夫妻がおられるホーム



CFNI の日本人学生とのパーティー



グリコ先生ご夫妻からのプレゼント

前半のダラス滞在期間中は、CFNI のデニス & ジンジャー・リンゼイ御夫妻にお会いし、祝福の祈りをさせていただきました。ニッキー・ギルデンハイズご夫妻、キース・バンクスご夫妻、CFNIチャーチの牧師であるトム & レアナご夫妻、卒業生の佐藤めぐみ姉妹との再会、そして現在 CFNI の学生として学んでいる日本人学生の皆さんとも素敵なフェローシップの機会が与えられました。アメリカで誕生日を迎えた私（紀子）のためにも、手作りケーキでお祝いしてくれました。ダラスからサンアントニオ迄すべての行程を準備し導いてくださったティモシー・ホンサレックさんと、私たちの通訳として同行し、様々な助けをくださったグドール・ハーモニーさんにも特別な感謝を捧げたいと思います。本当にありがとうございました。すべてを与え、このような機会を与えてくださったすべての方と、主イエス様に感謝と賛美をお捧げします。シャローム！

鍛冶川紀子



ダラスの日本人教会の婦人たちと



ダイアン先生のメッセージの言葉に聞き入る



# CFNI クリスマス！

救い主の誕生、それはあなたと出会うため！




■ 12月7日土曜日、キッズホールでは子供たちのためのクリスマス会が、学院ホールではすべての人のためのクリスマス会が行われました。どちらもたくさんの参加者が与えられ、学生たちが祈り準備したプログラムを楽しみながら、主イエス様の誕生と、成されたすべての恵みのわざを共に味わい祝う、素晴らしいひと時となりました。救い主イエス様は、罪深い私たちと世を救うために、この世に人として来てくださり、その命を惜しみなく捧げ、贖い主となってくださいました。心から感謝し、その御名をたたえます。



2019 年度 2 学期

# 入学式

■2019年9月9日(月)午前9時より、2学期の初日、2名の新入生を迎え、入学式が執り行われました。この日、新たに学院生活をスタートした新入生の為にお祈りをよろしくお祈りいたします。



■主に感謝！私は長い事、複雑な人間関係を避けて生きてきましたが、主と出逢い価値観が360° 変えられ、妻、京子（14期卒業生、旧姓：杉田）の愛と御声（「ルカ 5:10」「恐れるな」）に応答するかたちでついに入學しました。学院では神の子としてのアイデンティティと愛を受け取り、私達家族が主に従い御心に適う、通りよき管としてへりくだり、同労者達と共に神の御心を実現する為、学びを通して靈的成長と主との関係を築き上げていきたいです

●後藤 鉄成（福岡県）



■地元の知人に「北海道まで行かなければならぬの？」と尋ねられました。しかし主は「見よ、兄弟が和合して共におるのはいかに麗しく楽しいことであろう。」（詩篇 133 篇1節～3節）この御言葉を持って「この学校だよ」と3回、語ってくださいました。主の御心はぼやけておらず、はっきりとしている事を体験しました。貴重なこの学院での時間を主の御手の中で、兄弟姉妹と共に過ごさせてもらいたいです。

●濱田 めぐみ（長崎県）

■ALPS コースも含めて3年間の学びを終えて無事卒業が出来た事を本当に嬉しく思っています。わたしはここで愛されること、愛することを学びました。それは神様から、そして人から。3年前を振り返ると自分は本当に愛を知らなかったなぁと今はわかります。学院での学びに感謝しています。学院では生活を含め学びがとても実践的でした。他では学べないようなことをたくさん学びました。教えてくれた先生方や、共に学んだ兄弟姉妹に本当に感謝ばかりです。これからは本格的に神様の働きをしていく中、



ここで学んだことを生かしていき、ますます神様に栄光を返したいと思っています。ここでたくさんの恵みと愛を受けたので、今度は私が出て行って、それを流したい！主よ、用いてください。感謝します。皆さんの祝福をお祈りします！



・2年コース、及び、アルプスコース卒業。

●上山・カシア・リエ



2019 年度 2 学期

# 卒業式

■2019年12月6日(金)午前9時より、2年、及び、アルプスコースの学びを終えた「上山・カシア・リエ姉妹」の卒業式が執り行われました。この日、遠くからご家族も来られ、喜びと祝福に満ちた素晴らしい時となりました。これから導かれる場所で、主に、又、人々に仕えていく献身の歩みの為、お祈りをよろしくお祈りいたします。





2020年3学期

## 授業カリキュラムスケジュール

(2019年1月14日(火)～3月6日(金)迄)

CFNJ特別講義  
ゲストスピーカー

●ゲストスピーカーの講義は、どなたでも聴講できます。聴講は無料です。(席上献金あり。一部授業は有料。)又、各コースの授業も聴講可能です。(有料)詳しくは学院事務局迄お問い合わせください。

「あなたのさとしは奇しく、それゆえ、私のたましいはそれを守ります。  
みことばの戸が開くと、光が差し込み、わきまのない者に悟りを与えます。」  
(詩篇119篇129節・130節)

無料体験入学  
実施中!

平常授業のある3日間(3泊4日)

※詳しくは事務局まで。



1月

## 米村 英二師

●熊本県大津市、大津キリスト教会牧師・学院顧問

1/20～24  
(1・2時間目)

3月

## 安食 弘幸師

●日本キリスト宣教団峰町キリスト教会主任牧師

3/3～5  
(6日は卒業式)  
(2・3時間目)

## 1・2年コース (必修科目)

(敬称略)

	月	火	水	木	金
1 AM9:15~10:10	イエスキリストの信仰 金聖圭	旧約聖書概論Ⅲ 鍛冶川利文	聖書の夫婦に学ぶ 鍛冶川紀子	ヘブル書Ⅱ 長沢克己	終末論 松原望
2 AM10:30~11:25					
3 AM11:35~12:30	ガラテヤ書 田中博	聖書的自己像	聖書的自己像 坂本清憲	ガラテヤ書 田中博	今日のイエス・キリストの奇跡 J・ジャンセン

## アルプスコース (必修科目)

1 AM9:15~10:10	牧会論 田中博	牧会カウンセリングⅢ 小栗昭夫	神の国の原則による21世紀の教会 安田諭	教会教育 益田良一	霊的戦い 岡田好弘
2 AM10:30~11:25					
3 AM11:35~12:30	リーダーシップの21の原則 鍛冶川利文		聖書ヘブライ語 金聖圭	上級説教	松原望

## 選択科目

午後 PM13:30~15:30	ドラマクラス 仲宗根昇平	英語クラス	実習 (必修)	ドラマ演劇クラス 鍛冶川紀子
	タンパリンクラス 鍛冶川紀子	クリス・ドベリ		

# アメリカ・ダラス市のクライスト・フォー・ザ・ネイションズとの提携姉妹校

ホームページをご覧ください!

**cfnj.com**  
 随時願書受付中!

## 新入生募集中!

2020年1月(3学期)、及び、4月からの入学。



**無料体験入学  
 実施中!**

平常授業のある3日間(3泊4日)

※詳しくは事務局まで。



- アルプスコース(牧師・リーダー養成)
- 1・2年本科コース
- 1学期だけの短期で学ぶ事も可能です。



■SNSでCFNJの最新情報を

・Facebook: @CFNJBS

・Instagram: CFNJ 聖書学院



### 学院の特徴

- ・臨在溢れる賛美礼拝
- ・御霊に満ちた講師陣
- ・実践的なカリキュラム
- ・国内外のアウトリーチ
- ・独身寮・家族寮完備
- ・アメリカ留学編入制度
- ・多彩な選択課目

### 選択課目

- 演劇クラス
- ピアノクラス
- ワーシップドラマクラス
- 英語クラス
- ヘブル語クラス
- ボイストレーニングクラス

### 学院の必要と祈りの課題

ハレルヤ!いつも学院を覚えてお祈りくださり、尊い献金をもって支えてくださる皆様、本当にありがとうございます!皆様のご支援に支えられて、学院に与えられた使命を果たすべく、スタッフ一同心を合わせて祈りつつ日々の業務に励んでおります。その中で今、様々な必要を覚えておりますので、下記の祈りの課題を共にお祈りくださり、導かれた方はご支援のほど、よろしくお祈りいたします。

1. 学生数の増加の為。(現在の18名が30名以上になるように)
2. 学院施設の老朽化にともない、修理の費用が満たされますように。
3. 学院スタッフの健康と学生の学び、生活面、経済の必要の為。



宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネイションズ日本校

## CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157  
 (0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP: [www.cfnj.com](http://www.cfnj.com) 郵便振替: 02780-4-4688  
 ●e-mail: [office@cfnj.com](mailto:office@cfnj.com) 学院長/鍛冶川利文

